

# インド国ウッタラカンド州森林局職員一行が治山事業地を視察

2017年11月1日・2日に、インド国ウッタラカンド州森林局職員を対象とした治山実務研修を実施しました。



同州では2013年6月に豪雨に伴う洪水・土砂崩れにより死者・行方不明者を合わせて約6,000人という甚大な災害が発生しました。

これを受け同森林局では、国際協力機構(JICA)の支援のもと山地災害プロジェクトを進めています。



当センターの治山事業は、ウッタラカンド州に似た急峻で崩れやすい地質の大井川上流域で行われています。そこで、当センターの治山事業で使われている技術を現地で活用することを目的に、本研修が実施されました。





当センター職員による事業内容説明



当センター職員による  
無人航空機(ドローン)の操作実演



今回来日された方々は森林局職員や技術者ですが、具体的な施工計画や施工方法について詳細な部分まで多くの質問がなされ、センター職員も圧倒されるほどの治山技術への関心の高さと熱意がうかがえました。

